

第23回日本疾患モデル学会総会

- 日時：平成18年11月30日（木）午後1時～12月1日（金）午後3時
- 会場：伊香保温泉「福一」
〒377-0193 群馬県渋川市伊香保町伊香保甲8番地/ TEL:(0279) 20-3000
<http://www.fukuichi.jp/index.html>
- 会長：中釜 斉（国立がんセンター研究所生化学部）、樋野興夫（順天堂大学医学部病理学）
- プログラム：

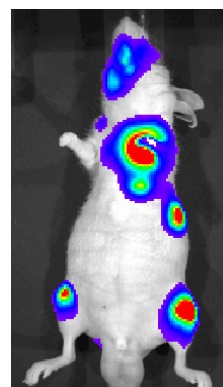
第一日目（2006年11月30日午後）

- ・ シンポジウム1「疾患モデルからヒト発がんの本態解明へ」
 1. ラット遺伝性腎発がん から アスベスト・中皮腫診断へ
樋野 興夫（順天堂大学医学部）
 2. PhIP誘発大腸発がんモデルー初期発生から浸潤性進展までー
中釜 斉（国立がんセンター研究所）
 3. ラットの膵臓がんモデル
津田 洋幸（名古屋市立大学大学院医学研究科）
 4. レトロウイルス挿入変異を用いた白血病発症機構の解析
中村 卓郎（財団法人癌研究所）
 5. Metaplasia-carcinoma sequenceによる胃がん発生モデル
大島 正伸（金沢大学がん研究所）
 6. 放射線と化学発がん物質の複合暴露
島田 義也（放射線医学総合研究所）



第二日目（2006年12月1日午前）

- ・ シンポジウム2「画像イメージングー細胞から個体へ」
 1. 脊髄損傷モデル動物とMRIによる神経軸索の可視化
岡野 栄之（慶應義塾大学医学部）
 2. がん転移モデルのin vivoイメージング
落谷 孝広（国立がんセンター研究所）
 3. 低酸素がん細胞を標的としたがんのイメージング
近藤 科江（京都大学大学院医学研究科）
 4. PET、SPECTによる疾患診断とモデル動物研究への展開
藤林 靖久（福井大学高エネルギー医学研究センター）



その他、

- ・ パネルディスカッション「日本実験動物学会と日本疾患モデル学会の将来展望」
 - ・ ワークショップI, II 「病態解明から危険因子の評価及び創薬まで①&②」
 - ・ 一般演題（ポスター形式：35題ほど）を予定しております。尚、シンポジウム或いはワークショップのテーマに関連する内容のものを幾つか一般演題より採用させて頂き、口頭での発表をお願いする予定であります。締め切りは平成18年9月8日（金）。
- 参加費・参加登録：（参加申し込みの締め切りは、平成18年10月12日（木）必着）
一般の方（会員 20,000円、非会員 24,000円）
学生の方（会員 10,000円、非会員 14,000円）
* 詳細については、総会ホームページ（<http://MODEL06.umin.jp>）をご参照下さい
 - お問い合わせ先：
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
国立がんセンター研究所 生化学部内
第23回日本疾患モデル学会総会事務局
Tel. 03-3542-2511（内：4552） Fax. 03-3542-2530
E-mail:MODEL2006@ml.res.ncc.go.jp